

S クリートクラック工法

クラック注入工法

表面被覆工法

施工要領書

**BIRCS**

株式会社バークス環境

## 概 要

Sクリートクラック工法は超微粒子セメント+特殊専用樹脂+液体無機黒顔料で構成された超微粒子フィラー材とSクリートアップ（ケイ酸ナトリウム系改質剤）を併用することで、クラックをVカットせず目立たなく補修ができるのと同時に、防水性向上・クラックの進行抑制・接着増強・エフロ防止等が新工法です。

また、コンクリート表層の劣化が著しい場合や無数のヘアークラックが発生している場合は、表層全体にSクリートクラック（超微粒子フィラー材）を塗布する工法（表面被覆工法）があります。

## 特 長

- 1、 事前にSクリートアップ（ケイ酸ナトリウム系改質剤）をクラック部及び全面に塗付することで、劣化したコンクリートを改質（アルカリ性回復・強度UP）し、防水性を高め、Sクリートクラック材との接着を強靱なものにします。
- 2、 Sクリートクラック材は超微粒子セメントですので、クラック幅が0.2mm程度でも浸透していきます。
- 3、 Sクリートアップを事前に塗布することで、Sクリートクラック材が強力に接着している為、長期間クラックの再発を防止できます。

## 施工可能な素地

コンクリート・モルタル・レンガ・磁気タイル・炝器タイル・石材等

## 施工前確認事項

- 1、 下地の汚れ、カビ、レイタンスは高圧洗浄等にて除去してください。酸洗いをした場合は必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、アルカリクリーナーをご用意しております。
- 2、 施工可能な気温は5度以上です。
- 3、 補修対象のクラックが貫通しているか否か、すでに漏水しているか否かの確認。

## 施工用具

刷毛・ローラー（短毛ウーローラー）・金ベラ・ゴムベラ・金鏝・バケツ・  
ハンドミキサー・計り・（場合により低圧注入器・強制注入器等）

## 施 工

### 1、養生

ガラス、アルミサッシ、金属、その他一般的な養生をしてください。

### 2、Sクリートアップ塗布（別途Sクリートアップ施工要領書を参照）

- ・ Sクリートアップは無色無臭な水性の液体ですが、高アルカリ性ですので、塗布作業は必ずゴム製手袋等を着用ください。
- ・ 塗布用具は刷毛・ローラー・噴霧器等を使用ください。
- ・ Sクリートクラック材を注入もしくは全面塗布する下地に対して、2回以上塗布してください。（塗布量：200cc以上/m<sup>2</sup>）
- ・ クラック補修の場合は、極力クラックの底まで入るように刷毛にてたつぷりと2回以上塗布してください（その際、追っかけ塗布でも問題ありません）。Sクリートアップは浸透性に優れていますので、貫通していないクラックの場合、クラックの底まで到達し、反応しクラックを固定します。
- ・ Sクリートアップはコンクリートを改質・強化し、新たなクラック発生の抑制効果がありますので、クラック部のみならず、全面に塗付することをお勧めいたします。

### 3、Sクリートクラック工法の調合

#### ○クラック注入の場合

荷姿：ペール缶セット（超微粒子セメント1Kg・特殊専用樹脂200g  
Sクリートアップ1L・無機黒顔料20g）

- ・ 清水800cc＋特殊専用樹脂200cc＋超微粒子セメント1Kgの順番で、バケツに投入し、良くハンドミキサーにて混練してください。
- ・ 水量はクラックの幅により増減して調整してください。
- ・ 良くハンドミキサーにて攪拌後、3～5分材料を寝かせてください。
- ・ 寝かせた後、黒顔料は少量ずつ混入し、再度良く攪拌してください。セットの20gを全部入れますと濃い目のグレー色になりますので、施工コンクリート面の色合いに近くなるよう調整してください。
- ・ 1セットで、50～80m程度注入可能です。

#### ○表面被覆の場合

荷姿：ペール缶セット（超微粒子セメント4Kg・特殊専用樹脂2Kg 無機黒顔料50g）  
標準塗布量：150g/m<sup>2</sup> 50～60m<sup>2</sup>/セット

- ・ 清水2～2.5L＋特殊専用樹脂2Kg＋超微粒子セメント4Kgの順番で、バケツに投入し、良くハンドミキサーにて攪拌してください。

- ・水量は施工コンクリート面の状態に応じて微調整してください。ヘアークラックが多数ある場合は水量を増やしたほうが、クラックに入りやすくなります。
- ・黒顔料は練上がり後に少量ずつ混入し、再度良く攪拌してください。セットの50gを全部入れますと濃い目のグレー色になります。

#### 4、本施工

##### ○クラック注入の場合

- ・Sクリートアップを2回目塗布後、極力追っかけにて注入してください。  
施行面が湿潤状態のほうが、施工しやすく、また接着が良くなります。
- ・小刷毛（15mm程度）もしくはゴムヘラ・金ヘラにて、極力クラックに沿って調合したネタを置いていきます。その後追っかけで、ゴムヘラ・金ヘラなどですり込んでいきます。表面に残ったネタは乾燥後スクレイパーなどにて削ぎ取ってください。
- ・しゃぶ目の調合のほうがクラックに入っていきますが、ネタが痩せますので、再度注入してください。
- ・ネタが痩せてクラック跡が消せない場合は、固めに調合して再度注入してください。
- ・0.2mm幅以下のクラックには注入しづらい為、ペーパーカッター等にてクラック幅を広げてください。
- ・専用注入器による低圧注入も可能です。

##### ○表面被覆の場合

- ・Sクリートアップを2回目塗布後、極力追っかけにて注入してください。  
施行面が湿潤状態のほうが、接着が良くなります。
- ・短毛ウーローラーにて、調合したネタを均一に塗布してください。通常2回塗りでおさめます。（標準塗布量：150～200g/m<sup>2</sup>）
- ・水量を少なく調合すると、塗膜が厚くなり表面にこびびが入ることがありますので御注意願います。（こびびが入っても表面強度には大きく影響はありません。）
- ・大きいクラックがある場合は、事前に調合したネタを注入したほうが、綺麗に仕上がります
- ・2～3時間程度で乾燥して、人が乗れる状態になりますが、完全硬化には2～3日間必要です。（24時間以上経過すれば雨が降っても問題ありません。）
- ・表面被覆工法は、コンクリート・モルタル下地の劣化が大きく進行し、表面がポーラス状態になっている場合に適しています。劣化が小さい場合は、別途SクリートフローもしくはSクリートカラーをお勧めします。

#### 5、注意事項

- ・気温が5度以下での施工は避けてください。
- ・雨天時での施工は避けてください。